

4月2日（日）第二礼拝

「十字架上の7つのことば」ルカ 23章 34節

十字架上の最後の7つのことばは、神様の私たちに対する愛の表現です。

第一番目、赦しのことばです。ルカ 23:34「彼らを赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」イエス様を栄光の主だと知らなかったためにイエス様を十字架に釘付けにしました。それは結局のところ私達の罪なのです。

第二番目、ルカ 23:39-43「あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」イエス様の十字架の左右に二人の強盗が十字架につけられました。最初、この二人は群衆と共にイエス様を罵りましたが、イエス様のこの祈りを聞いて、その内の一人は悔い改めました。「あなたの御国の位にお着きになるときには、私を思い出してください。」救いは今日です。イエス様から赦しを頂いたらパラダイスが開かれ、御霊による義、喜び、平安が与えられます。

第三番目、ヨハネ 19:26-27「女の方。そこにあなたの息子がいます。」創造主と被造物の関係をはっきりするために、イエス様は「女の方」と言われました。コンスタンティヌス王の時代にキリスト教が公認され、ローマの宗教セミラミスがタンムスを抱いている姿と混ざり、女神崇拜(マリヤ崇拜)が入り込みました。しかし、マリヤは被造物であり神ではありません。イエス様は「女の方」と言われ区別されました。

第四番目、マルコ 15:34「どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」イエス様は私達の罪を背負い、罪となられて捨てられました。愛で一つだった三位一体の神様に分離が起きました。罪とは神との分離(ハマルティア・外れること)です。これが死(タナトス)です。

第五番目、ヨハネ 19:28「わたしは渇く。」これは、イエス様が私たちの陰府、死の^{よみ}苦しみを背負ってくださったことを表しています。ルカ 16:24 金持ちは「…ラザロをよこしてください。炎の中で苦しくてたまりません。」と言いました。この私たちの行くはずだった陰府、炎の苦しみから、イエス様が贖ってくださったのです。

第六番目、ヨハネ 19:30「テテレスタイ、完了した」イエス様が神の御子としてこの世に送られた使命と目的を成就した告白であり、人間の罪の代価を完全に支払ったという宣言です。ですから、誰でもキリストのうちにあるなら、罪に定められることはないのです。イザヤ 53:5「彼は私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。…彼の打ち傷によって、私たちは癒された。」本当の癒しは十字架から来ます。福音とは実際に動く力です。イエス様は富んでおられたのに十字架上で着物さえも奪われ裸になりました。それは私たちを富む者とするためです。私たちはこの福音を信じることで力を受けます。

第七番目、ルカ 23:46「父よ、わが霊を御手にゆだねます。」私たちが世を去る時、私たちの霊は天国に行くか、地獄に行くか、どちらかです。私たちのために、主が全てを支払ってくださったと信じて委ねる時に平安が来ます。アーメン！